

## 令和7年度 第2回 学校運営協議会 議事録(要点記録)

令和7年11月19日(水)本校図書館にて

### ◎参加者

- (1)委員 4名
- (2)オブザーバー 4名
- (3)本校教職員 6名

### ◎会次第

#### 1. 会長挨拶

- ・子ども(生徒)たちのために、学校、保護者、地域が協力することの重要性
- ・様々な国や地域出身者と共存することの必要性

#### 2. 学校長挨拶

- ・委員会事務局総務課より学校運営協議会担当職員の紹介 など

#### 3. 学校生活の状況

- 1年生
  - ・中学生としての学習活動・テスト勉強への取り組みについて
  - ・生徒会選挙や震災学習に向けての取り組みについて
- 2年生
  - ・トライやるウィークでの活動の様子と発表会への取り組みについて
  - ・校外学習(大阪市内班別活動)への取り組みについて
- 3年生
  - ・校外学習(ネスタリポート神戸)での活動の様子と学年の状況について
  - ・進路へ向けての取り組みとweb 出願/ネット出願について
- 生活面
  - ・SNSを通じた交友関係の広がり危険性について
  - ・学校のきまりについて
  - ・GIGA 端末の誤った使い方について

#### 参加した委員より

- ・自転車通学の危険性と生徒・保護者へ向けての指導の必要性について
- ・自転車の乗り方や使用状況について、迷惑行為やルール違反がある現状について
- ・中間考査や期末考査などの試験範囲の決め方と実情について
- ・全国学力学習状況調査における課題と対策について
- ・生成 AI を使用して作品などを応募することに対して世代間で考え方の違いがあることと、生成 AI の正しい使い方を指導することの重要性について

#### 4. 教頭より

- ・R8年1月に開始する全員喫食(給食)へのアレルギー対応や全員喫食へ向けて運営方法など
- ・全国学力・学習状況調査の結果に基づく検証改善計画の紹介と解説

#### 5. 校長より

- ・R8年度の体育会、文化祭、音楽会の日程と内容に関する(案)の提示  
※ 第3回学校運営協議会で今回の(案)に対する承認の可否を求める予定
- ・R8年9月から始まるコベカツの現状と予定、準備、課題について

#### 6. 参加した委員より

- ・コベカツのHPに掲載されている内容を生徒、保護者へ発信してほしい。
- ・コベカツになると従来の部活動より経済的負担が大きくなるので、参加できない生徒がいるのではないかと、またコベカツに参加しない生徒たちによる問題行動が増加するのではないかと不安になる。
- ・PTAという団体のあり方が問われている。子供が立派な大人になるために手伝える団体は必要だと考えるが、活動内容は再検討すべきである。
- ・幼稚園の園児にとってはトライやるやふれあい体験を通した中学生との交流はとてもありがたい。中学生の発想はとても豊かで、交流がきっかけで遊びが広がった。
- ・中学校生活のきまりを生徒会を中心に生徒たちで考えさせることはとても有意義である。
- ・小学校にトライやるで来てくれた生徒は本当に一生懸命で、つねに小学生児童から頼られるぐらい必要とされていた。ありがたい存在であった。
- ・マスクをしない音楽発表会での合唱はとてもよかった。コロナ渦の影響は今でも子どもたちの中に残っていると思う。大声で歌ったり、心から笑ったりする子どもたちの姿がもっと戻ってきてほしいと願っている。
- ・令和8年度は2小1中、3校合同で学校運営協議会をしてみてもどうか。
- ・インターネット、SNSが普及することで、疑問に思ったことや不安に感じたことに対する回答がすぐに分かるようになった。その影響で、子どもたちはすぐに結果を求めようとして、目先のことで判断し、先のことをじっくりと考える習慣がなくなっているのではないかと感じる。先の展開を見据えて物事を判断する、すなわちじっくりと物事を考えることができるようになることも必要なことで、表現したいことを、自分で考えて、文章で表現することの重要性を再確認するべきではないでしょうか。
- ・地域の人を交えて話し合いをすることで、いろんな意見が出た。地域の大人として子どもたちを見守るという観点の意見はもちろん、地域の住人として迷惑をこうむっているという視点での話は興味深いものであった。
- ・PTA活動は縮小傾向にあり、PTAが今まで加入していた保険は使えない状況になりつつある。ただ、校内の活動においては、運営協議会の下部組織としての団体の活動という位置づけであれば、運営協議会の保険を適用することができるので、ぜひ利用してほしい。
- ・地域の方を中心とした防災学習や炊き出し、夜間中学校などは、中学生にとっては大変貴重な教材となりうるものであるため、ぜひ生かしてほしい。